

2010年世界農林業センサス結果の概要について

農林業センサスは、わが国の農林業の実態を明らかにするため、5年毎に行われており、今回の調査は平成22年2月1日現在で実施しました。

この概要は、平成23年3月24日に農林水産省が公表した農林業センサス結果（確定値）のうち、農林業経営体調査の富山県分結果についてまとめたものです。

農林業経営体



～ 農林業経営体数は23,396経営体 ～

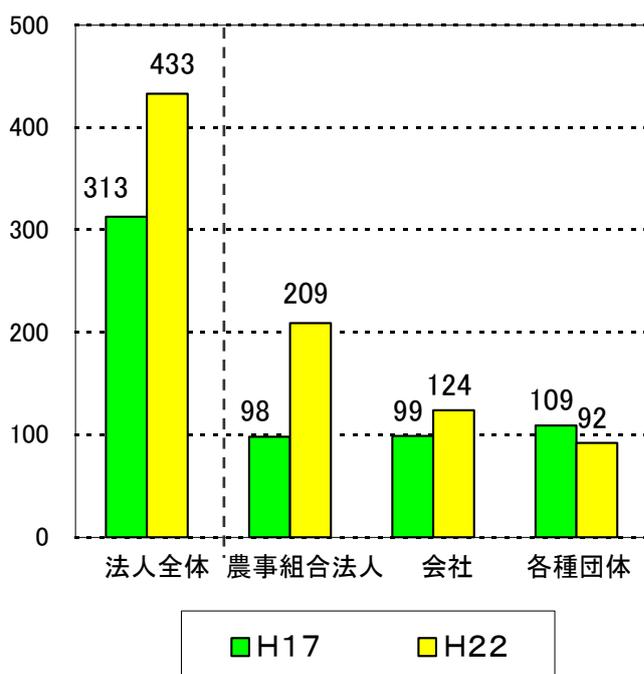
農林業経営体は23,396経営体で、前回は29.1%減となりました。

農業経営体

～ 農業経営体数は前回は29.1%減、集落営農の組織化、担い手経営体への農地利用集積が進む～

法人化している農業経営体数の推移

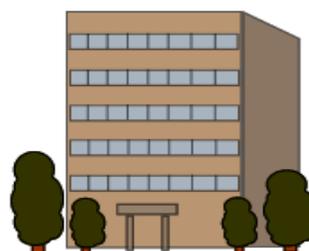
(単位：経営体)



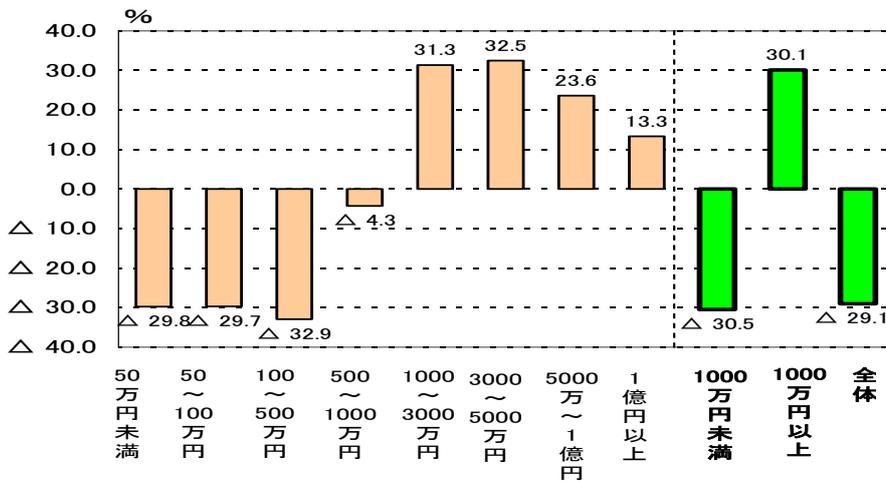
農業経営体数は22,906経営体で、前回は29.1%減となりました。

うち、法人化している農業経営体数は433経営体で、前回は38.3%増、このうち、農事組合法人は209経営体で前回は113.3%増、会社は124経営体で前回は25.3%増となりました。

また、個人の農業経営体数は21,954経営体で、前回は30.2%減となりました。

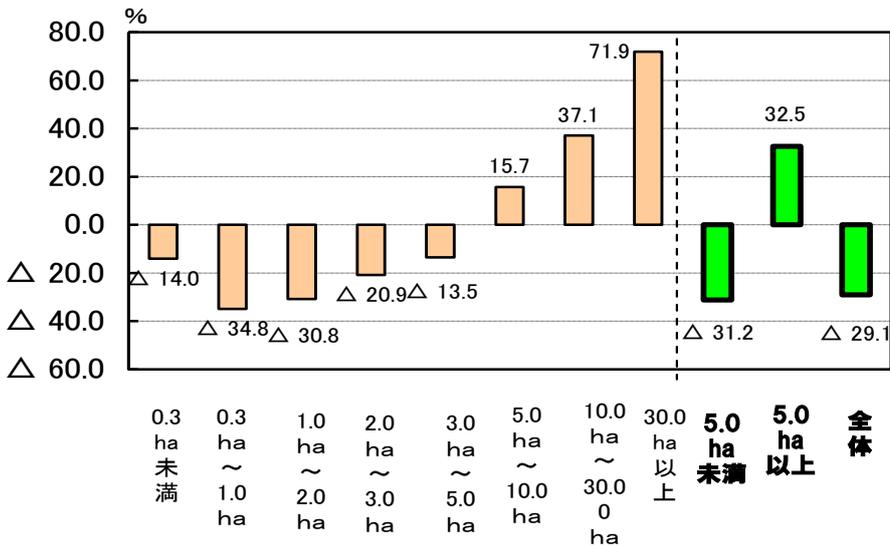


農産物販売金額規模別農業経営体数の増減率



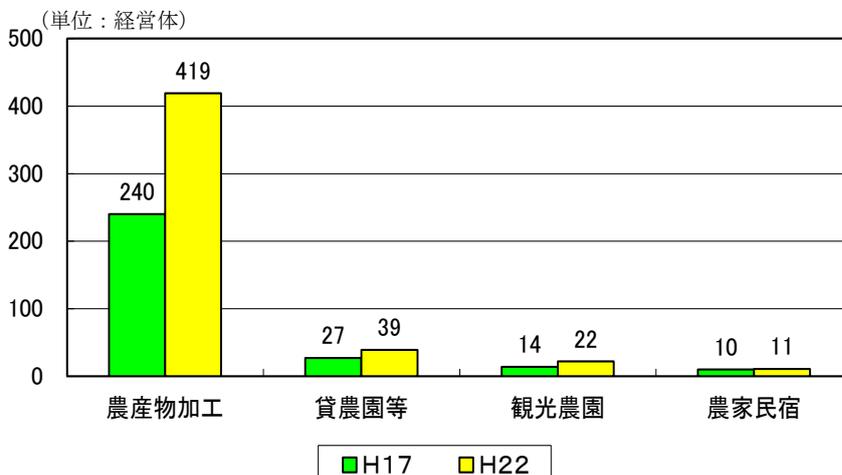
農産物販売金額規模別に農業経営体数をみると、1,000万円未満の層は21,917経営体で前回は30.5%減となる一方、1,000万円以上の層は989経営体で、前回は30.1%増となりました。

経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率



経営耕地面積規模別に農業経営体数をみると、5.0ha未満層は、前回は31.2%減となった一方、5.0ha以上層は、前回は32.5%増、特に30.0ha以上層は前回は71.9%増となりました。

農業生産関連事業別農業経営体数



農業生産関連事業別に農業経営体数をみると、農産物の加工に取り組む農業経営体数は419経営体で、前回は74.6%増となりました。

総農家数

～ 総農家数は29,634戸 ～

総農家数は29,634戸で、前回比25.4%減となりました。このうち、販売農家数は21,914戸で、前回比30.3%減となりました。

農家数の推移 (単位:戸)

	平成17	平成22
販売農家	31,463	21,914
自給的農家	8,257	7,720

経営耕地面積

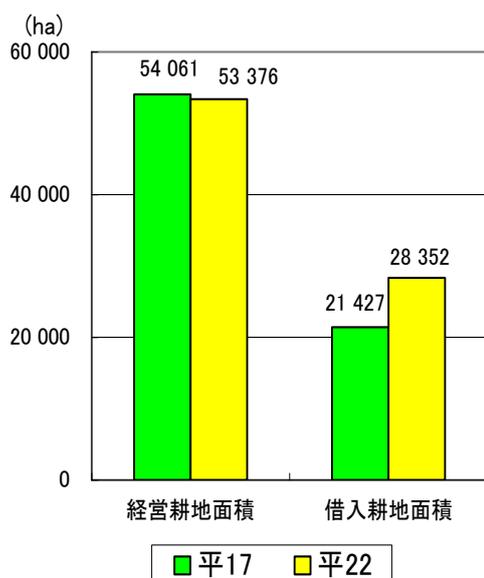
～1経営体あたりの平均経営耕地面積は前回比39.1%増、
農業経営の規模拡大が進む～

農業経営体の経営耕地面積は53,376haで、前回比1.3%減となりました。

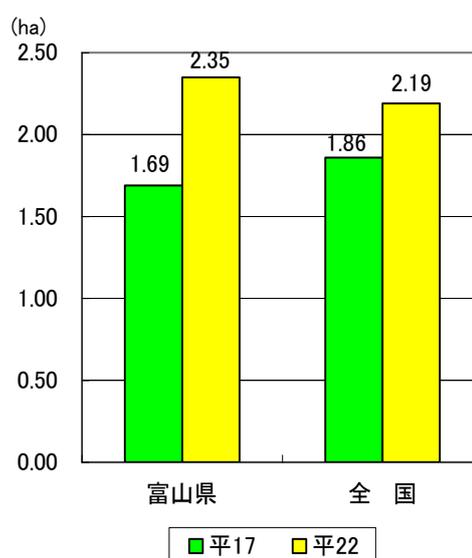
1経営体あたりの平均経営耕地面積は2.35haで、前回比39.1%増となりました。



経営耕地面積 借入耕地面積の推移



1経営体あたりの平均経営耕地面積



農業雇用労働力

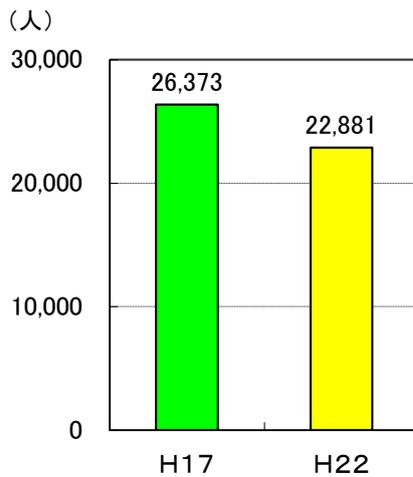
～常雇いは、前回比8.4%増加～

農業経営体に雇用された者は22,881人で、前回比13.2%減となりました。

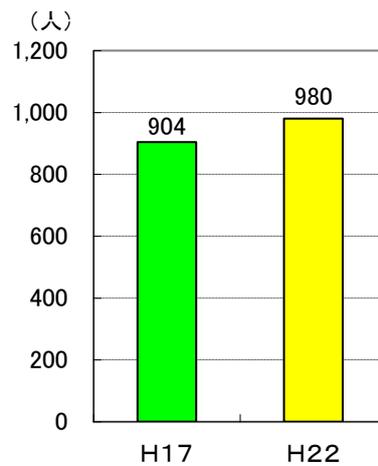
このうち、常雇いは980人で、前回比8.4%増、臨時雇いは21,901人で前回比14.0%減となりました。



雇用の推移



雇用のうち常雇いの推移



林業経営体

～ 林業経営体数は964経営体 ～

林業経営体数は964経営体で、前回比29.9%減となりました。

全国と比べると、保有山林面積は5.0ha未満の経営体が占める割合が高くなっています。

